

請願第 27号

令和3年12月16日

川崎市議会議長 橋本 勝 様

幸区在住者

ほか 8,823名

川崎市独自の少人数学級推進を求める請願

請願の趣旨

令和3年度、義務標準法が40年ぶりに改正され、小学校35人学級が5年計画でスタートすることになりました。少人数学級に向かって新たな一歩が踏み出されたことは、多くの市民に歓迎されています。

しかし、この計画では、現在、小学校3年生以上の児童生徒は、中学校卒業まで現行の40人学級編成で学ぶことになってしまいます。

特に市内の70%の生徒が36人以上の学級で学んでいる中学校では、少人数学級を中学校まで進めてほしいという願いは切実です。

現在、多くの自治体では、独自の少人数学級を実施しています。コロナ禍の下、子どもたちが安心して学び合えるように、本市でも36人以上の学級を無くしてください。

請願事項

川崎市立小中学校の36人以上の学級を無くすこと。

紹介議員

宗田 裕之